

件名	第1回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2021年10月14日(木) 19:00~19:40
場所	多世代交流センター ゆるりん館
出席者 (敬称略)	委員:谷口、上治、本庄、岸田、速水、北村、藤原、山陰合同銀行松崎支店 能見支店長、倉吉信用金庫東郷出張所 河井支店長 湯梨浜町役場みらい創造室:西原室長、谷岡係長、(欠席)川崎、立木、遠藤、清水、河本
決定事項 (合意事項)	本協議会は、任期をもって終了とする。実施・成果報告を地区住民に配付する。
次回までの 調整事項	
配布資料	第1回松崎地区駅前活性化協議会レジュメ、松崎地区駅前活性化協議会実施・成果報告(案)、松崎地区駅前活性化協議会規約

### 1. 開会

(事務局) みなさん、こんばんは。令和3年度第1回目の松崎地区駅前活性化協議会という事で、みなさんお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは、まず会長あいさつという事で。

### 2. 会長あいさつ

(会長) みなさん、こんばんは。今日はお忙しいところ、協議会の最後の会になりそうですけど、本当に長い間ご協力いただきまして、ありがとうございます。協議会は、ちょうど5年前の10月20日ですから、中部地震の1日前に発足したという事で、5年間、本当に長きにわたりまして、最初の方はゆるりん館の立ち上げ、中盤には松崎の活性化、いろんな立場での、休止もありましたけど、いろんな立場で、例えば元気祭りの参加とか、神社の祭りとか、防災関係とかいろんな形で取り組んでいただきまして、松崎の活性化に中部地震以降、この協議会の委員のみなさんが、貢献されたという風に思っています。いう事で、今日たぶん、終止符になりますが、引き続き協議会の委員としまして、いろんな地域活動に貢献していただければなあという風に思っています。今日はどうもお忙しいところありがとうございます。よろしくお祈いします。では、メンバーの変更がありましたので、まず、合銀さんが最初で最後になりますけど、支店長から一言ごあいさつをお願いします。

(委員)みなさん、こんばんは。山陰合同銀行松崎支店の支店長をしております、能見と申します。今年の2月に着任しました。最初で最後という事で残念なんですけども、引き続きよろしくお祈いします。

(会長) ありがとうございます。事務局さんも変わってますので、最初に室長。

(事務局)はい。4月からみらい創造室につとめております、西原と申します。よろしくお祈いします。

(事務局) 同じくみらい創造室の谷岡といいます。今年から協議会の担当という事でさせていただきます。よろしくお祈いします。

(会長) それでは、今日の欠席が5名ありますが、予定通り会議の方を開催したいと思っておりますので、よろしくお祈いします。委任状をいただいておりますので、会としては成立します。

### 3. 議事

(会長) 最初議事に沿いまして、1番目、松崎地区駅前活性化協議会の実施・成果報告につきまして、事務局さんをお願いします。改めまして発足してからちょうど5年間という事で、長きにわたって委

員をしたなあと思っておりますけど、本当にみなさん方、ご協力ありがとうございました。それでは事務局さんご報告の方をお願いします。

(事務局) では、議事の(1)という事で、松崎地区駅前活性化協議会の実施・成果報告についてという事で、みなさんにお配りしている表・裏カラーの紙をご覧ください。会長・副会長とも事前に話し合いをさせていただきまして、後ろに規約をつけておりますけど、第4条で、任期は5年とするという事で、まもなく10月19日で5年を迎えるという事で、任期が一通り区切られるという事で、会長、副会長と話しまして、実施の成果報告というものを作成して、地区住民さんに配布したらどうかという事で提案させていただきます。では、まず実施・成果報告書の中身を簡単に説明させていただきます。まず、最初にこの活性化協議会についてという事で説明しています。生涯活躍のまちの全体計画の内の、松崎地区駅前の活性化について、今まで5年間、みなさん、協議・実施等していただいたという事で設置していますと、で、任期を迎える事になり報告しますという事になっています。次に協議会の概要という事で、設置平成28年10月20日から任期が令和3年10月19日までという事で、委員は14名、現在の14名の方の委員のみなさんのお名前を書かせていただいています。次に協議会の実施内容・成果という事で、5年間の活動を総括して概要をまとめています。当初は先ほど会長がおっしゃられた総合相談センターとか、このAコープ、ゆるりん館の改修に向けて、みなさんに活用方策に向けて、グループ討議もさせていただきながら、協議を進めました。その結果、ゆるりん館の活用に関するアンケートの実施ですとか、愛称の選考とか、みなさんにご協力いただきまして、また、足湯設置についても要望していただきまして、実現に至るといような成果がありました。その後協議会に出されたアイデアによって、駅前の軽トラ市の開催、竹灯籠プロジェクト、花いっぱい運動などの活動につながり、特に竹灯籠プロジェクトは新たに祭り応援文化を創出し、現在も継続されているというところで、活性化に貢献しました。またこの協議会の活動を契機に、各区長さんや住民のみなさんのご協力をいただきながら、まつぎき元気祭りの開催ですとか、松崎自主防災会の活動、地元こども園によるビオトープ作業など、活性化の輪が広がって、それが現在も継続されているというところが成果かなというところでまとめております。その次に平成28年度から各年度の主な活動を説明しています。まず、平成28年は主に話し合いでしたので、協議会数6回というところで書いております。平成29年は、協議会が10回行われまして、主な成果として書いております。軽トラ市ですとか、まつぎき元気祭り、あとはアンケートの実施などというところです。軽トラ市の写真も載せています。裏面にいっていただいて、29年は引き続き改修に関する方策とか、そういったところを話していただきましたと、グループ討議の事も書いております。検討結果などを町やまちづくり会社に提案しましたという事になっています。平成30年、こちらが、更に発展したような内容になっておりますので、主な成果というところで花いっぱい運動とか軽トラ市、竹灯籠プロジェクト、あとは多世代交流センターゆるりん館がオープンいたしましたので、それに向けての活動、愛称、げんき湯足湯の設置などを挙げております。そして令和元年から3年までという事で、1回、平成30年度末で、みなさん一旦活動自体は、主だったところは休止という形をとられまして、その後、竹灯籠活動というところをしていただきました。令和元年から3年にかけては、ご覧の通りで、主に竹灯籠の活動をしていただいたという内容でまとめております。ちょっとここで書きそびれてるんですけど、中間報告を折り込むというところで、ここは、中間報告という事で、平成31年3月に、松崎地区、旭地区、中興寺地区に対して、中間報告というのをしておりますので、その旨をもう少し詳しく書くつもりです。ちょっとこれは書き方が足りなくて申し訳ございません。最後にこの後の議題にもなってますけど、協議会の今後についてという事で書かせてもらっています。5年間のこれまでの活動を、Aコープ、ゆるりん館等の地域課題について協議を進めてきました。多世代交流センターゆるりん館のオープンし、その他課題にもある一定の成果が出たと思われまます。また協議会を契機として様々な活動の実施団体が区長会と連携

して、各区長のご協力をいただきながら、現在も活動は継続されており、松崎地区駅前の活性化につながっていることから、本協議会は任期をもって、活動を終了といたします。ただし、先ほど会長もおっしゃられたように、協議会の委員は個人として、各団体と関わりながら地区の活性化に協力していきます。最後に各地区の区長、住民のみなさまには、協議会の活動にご協力いただきありがとうございました。今後の一緒に地区の活性化を継続させましょうという事で、ひとまず、会長、副会長と事前にお話しさせていただいたことで、提案といいたいでしょうか、こういった案で示させていただいております。全体としてはこういった内容になっております。

(会長) ありがとうございました。一応事務局さんの方にまとめていただきまして、事前に調整しましたですけど、みなさん方の方でご意見とか感想とかいろんな想いがあると思いますけど、いかがでしょうか。折角ですから時間がありますので、一言ずつ感想をいただいてもいいかなあと考えてますけど、いかがでしょうか。

(副会長) 5年という事で一度ピリオドを打つというような事がございます。大変長いように思ってますけど、終わってみればそんなにも長くなかったなという風に感じております。まだまだ我々の活動が、活性化に活かされていないという事を何となくつくづくと感じているところでございまして、もう少しこの駅前を活性化するのにどうしたらいいだろうかという事を突き詰めて考えていかないかなとですね、尻すぼみになりそうな感じなもので、いろんな、先日10日の祭りだとか、行事に対してですね、みなさんと活性化を図りながらやっていきたいなあとという風に思っております。これからもひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

(会長) ありがとうございました。

(委員) 5年間でしたけど、長いようで短いようだったんですが、このように立派なゆるりん館っていうものが出来て、これからは本格的に利用しながら活性化を、いろんな場面での活性化につなげていきたいという気持ちはまだ多々あります。自分が何をすべきかという事は、はっきりとは言えませんが、とにかくこの駅前の活性化についてちょっとでも力になればと思っております。以上です。

(会長) はい、ありがとうございました。

(委員) 名前は活性化協議会ですけども、活性化といっても難しいですね。一時的に大きく打ち上げ花火をあげただけでは、活性化になりにくいですし、参加してみても難しいなあと感じております。

(会長) はい、ありがとうございました。

(委員) 5年間それこそいろんな事に携わってきましたけど、まだ物足りないような気がします。これでいいのかなあって思っただけ。その思いの方が多いです。自分としての思いがね、まだ駅前の方が、一生懸命頑張ったけど、なんだか中途半端な気がして、まだし残りがあるんじゃないかと思っただけ。もうちょっと頑張ってみたいなあっていう思いもたくさんあります。ここで終わったらもったいないような気がする。

(会長) コロナの関係もあったでしょうね。

(委員) そうですね。なんか中途半端な気がして、いろいろ途中で……。それでも、こうして見ると、コロナの関係もあるけど、それだけではないような気がするんですけどね。もうちょっとなんかないかなあと思っただけ。この間、タクシーの運転手さんに言われちゃって、温泉まちなのに、温泉まちじゃないねって。ちょっとガクッと来た。この5年間何しとったかなっていう反省の方が多いです。

(会長) ありがとうございます。花の関係とか貢献していただいたと思っております、ありがとうございます。ちょっと活性化の話でね、実は10月の10日に松崎の祭りがありまして、コロナ禍であっても、みんなで協議しながら開催した。動員数は、80名、住民の80人が、縮小化されても出られたという事であったんですけど、これって活性化の一つかなあと思っただけ。竹灯籠もあったんですけど、地域の、松崎の取り組みが、いろんな取り組みが評価されてるなあと思っただけ。普通はコロナで

辞めちゃうんですけど、非常にいい勉強になりました。

(委員)さっきおっしゃられたように、5年間あっという間でした。何やったんかなあと思いながらも、それなりの成果は出てると思うんです。今後も、何らかの形で関わっていったらと思います。

(会長) はい、ありがとうございます。

(委員)私もスタートの時から委員をさせていただきまして、協力出来たかって言ったら、?マークが出ちゃうかなあというところなんですけど、最初の会から、どんな町の良いところだ、悪いところだを調べながらしていったのが、ほんにこの前だったような気もするし、なんか遠い昔の話のような気がしながらも、今みなさんの意見を聞きながら感じておりました。やはり、このゆるりん館だったり、かなり成果は出てるかなあと思います。私も金融機関で異動っていうのもあるかもしれませんが、今後も出来る事があれば、協力していきたいと思います。

(会長) はい、ありがとうございます。

(委員)ゆるりん館が出来て良かったと思います。委員の間にいろいろな事を話し合われてきましたけど、いろんなことが具体的な形で表れてきて良かったと思います。松崎の委員の方が一生懸命この課題に取り組まれて、とても良い結果が出て、良かったと思います。

(会長) どうもありがとうございます。松崎地区外で今回の協議会の委員になっていただきまして、協議会以外に、松崎の元気祭りの実行委員までしていただきまして、本当にありがとうございます。

(事務局)平成27年度に、湯梨浜町が生涯活躍のまち構想というのを策定しまして、その実現という事で、この松崎地区をモデル地区設定してですね、Aコープ跡地の活用という事がひとつ大きなテーマだったりしたようですけど、そこの計画・策定に向けて住民のみなさまの意見集約といいますかそういったところや、それからそこを活用した地域活性化っていう事で、大変尽力をいただいたという事でございます。会長、副会長、それから委員のみなさん、本当に何もない中で立ち上げからほんとに苦勞されたんだろうなと思っております。ただ、会の趣旨といいますか、町の事業の思いそういったところもしっかり汲んでいただいて、熱心に活動していただいたと思っております。最初担当の方が、お二人とまとめた内容を書いておりましたけど、その中で区長会と連携していろんな活動が出来ていたという事が、本当にこれが今後も残っていくんだなっていう風に思ってます、そちらの方との連携という事で、町としてはまたお願いしながら進めていけたらなと思っております。本当にみなさん、こういった提案の中でも前向きな意見をほんとに、たくさん述べられるという事ですごくいなと思っております。私も出来る事は協力させていただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

(会長)ひと言ございましたら。

(委員)私も何も出来てないんですけど、先ほどの成果報告ですけども、ほんとに5年間、会長、副会長をはじめ、みなさん委員の方がご尽力いただいて、活性化につながったんじゃないかという風に敬意を表したいと思います。今後も金融機関として出来る事はさせていただこうと思っておりますので、また引き続きよろしく願いいたします。どうもお疲れさまでした。

(会長) ありがとうございます。みなさんで、何か言いそびれたことはありませんか。余談ですけど、活性化の関係で非常に区長会の話が出ましたけど、実は区長会が松崎には6つの、1区から5区と旭と6つの行政区が一緒になって、松崎行政区を作ってますけど、その6つの区長会のメンバーに、副会長が地域の活性化推進員、私が防災関係、それから議員さんと、もう一人ビオトープということも園の関係、この10名が常時、同じ会でディスカッションしながら事業を進めていく、という面が先ほど室長から評価いただきましたけど、そういうところは多分、湯梨浜ではないと思うんです。ですからもちろん元気祭りの協力要請であったり、いろんな事を連携しながらいくので、その分みなさんが、逆に元気祭りに委員として、ご負担いただいたなあという事で、ほんとうにそのお力添えが、そういう形で発展してきたなあという事で、防災関係もそれに繋がってますし、そんなとこ

ろであります。いう事で、区長会とみなさん方の応援が区長会の力の、連携の力になっていただいと、ほんとうに有難いなあとと思ってます。元気祭りどうですか、評価は。

(副会長)評価というか、唯一の、地域を盛り上げる活動でなかったかなという風に思いまして、この原点がですね、今言われた区長会、あるいはその他の団体との連携という事で、非常にこの松崎地区が盛り上がったという、ひとつの要因ではないかという風に思っておりまして、良い勉強をさせていただいたという事と、今後も区長会を、まとまって地域の活性化に貢献していくような事をですね、我々も側面的に考えていかないけんし、区長会を引っ張っていく事も必要ではないかというような考え方でおります。以上です。

(会長) はい、ありがとうございます。立ち上がり時から、区、行政って言いますか、地域の区の匂いが大きい、もともと松崎の6つの区長会に相談して立ち上がったものですから、あまり商売がらみの事がなかなか最後の方は出来なかったなという事は、私たち反省がありますけど、ただアンケートをとったりですね、そういう形で、例えば鹿野に視察に行ったり、そういう形をさせていただいたんですけど、金融機関さんにとってあまりお役に立てなかったと思いますが、何か室長の方から、金融機関さんがメンバーに入っていたんですけど、なかなかお役に立てなかったと私思ってますけど、その辺はいかがですか。

(事務局) そのあたりは、それこそ、地方創生っていう事業の一環でこの生涯活躍のまち構想っていうのがあるんですけど、そこで地方創生っていう国レベルの考え方なんですけど、地方に元気を与えるっていうのはやっぱり、産学官金とか言うんですけど、いろんな多方面の部門と一緒に協力してやらなくちゃいけないっていうところで、金融機関さんにも入っていただきたい、いう流れでおそらくその当時、町からのお願い、調整の中で金融機関さんにも入っていただいた、金融機関さんも快く入られた、ただ具体的に地域活性化の中でどう関わっていくのかっていう戸惑いもあったんじゃないか、確かに町との構想の中で、しっかり関わって協力していただいているところなんですけど、やっぱりそういう難しさはあったんじゃないかと、ただやっぱり助言など町には大変貢献していただけてますし、引き続きご協力をお願いしたいと思えます。

(会長) 生涯活躍のまちづくりについては、引き続き残ってる？

(事務局) そうです。

(会長) そのテーマがあった時には金融機関さんの登場のステージはあると？

(事務局) そうです。

(会長) そういう話ですね。近々では泊方面ですか？今のところは？

(事務局) 町全体で、地方創生の戦略会議がありまして、そちらのメンバーにも入っていただいています。

(会長) ああ、なるほど。

(事務局) あとは事業者さんの支援、いろいろ今創業とか事業承継とかいろいろ問題があるんですけど、そういったところもしっかり関わっておられますし、貢献はしておられます。

(会長) 合銀さんも？羽合の支店長さん？も入っとられるですか、戦略会議。

(事務局) はい。

(会長) 何か本当にお力に、会に出ていただいただけだなという感じがするものですから、その辺の、いかがでしたでしょうか。

(委員) ちょっと今、前からの資料を見ようかなと思って見たら、やっぱり松崎の良いところ、よう勉強させていただきました。

(会長) ああ、なるほど。ただ、松崎は6つがコンパクトにまとまっていますから。そういう面ではいろんな面で、そういう地域はあちこちありますけど、力を発揮しやすいなあいう感じはします。じゃあその他で、花いっぱい運動していただきましたけど、女性の方に集まっていたいて。駅前の実は、観光案内所がありますけど、あの前の花なんかの整備は、委員さんに引き続きやっていただいている

る。あの辺はほんとに良い場所なんですけどね、駅の近辺は。話は違いますが、鹿野はきっちり整備してありましたね。あれは、やっぱり・・・。

(事務局)城下町という所を生かしてですね、いろんな補助事業もあるし、民間の資金なんかも多分、有効に活用しながらやってると思います。

(会長) まちは正方形でね。中間報告の件ですけど、あれは、日付はいつだったですか？令和元年？

(事務局) ちょっと確認してみます。

(会長) 元年は、3月は、まだ平成ですかね？

(事務局) そうですね、平成31年。

(会長) 平成31年の3月？

(事務局) 2月か3月だったと思います。

(会長) に中間報告をさせていただいた。みなさん報告の内容はこれでよろしいでしょうか。異議はありませんでしょうか。

(全員)異議なし。

(会長) という事は今後のスケジュールはどうなりますかね？この5年に対して。

(事務局) まず、今日みなさんに確認いただいた報告書は予定では、今月末、来月初めの町報と一緒に、前回中間報告と同じで、松崎地区、旭地区、中興寺地区のみなさまに配布するという予定です。

(会長) 町報ゆりはまと一緒に配布。

(事務局) これが入るというイメージです。

(会長) よろしいでしょうか。町報ゆりは11月号と一緒に、松崎地区と中興寺地区に配布になる。その事務処理は全部事務局がやっていただく。

(事務局) はい。

(会長) いう事ですね。それ以外に、実は立ち上げの話を、区長会を経て立ち上がってますので、明日ちょうど区長会があるものですから、こちらの方から報告いたしまして、今後のお願いについては、協議会終わりますから、室長の方から今後の取り組みについて区長さんの方に若干要請があるという事ですね。

(事務局) 要請というかお願いですね。我々と連携して。

(会長) 特にゆるりん館やどれみみの活用についてのお願いという事ですか？

(事務局) ご意見をお聞かせいただいたり、活動、提案とか、必要に応じてという形になると思いますけど。

(会長) という事で、再度になりますけど、明日ちょうど中央公民館で区長会がありますので、概要報告を会長の立場でしまして、役場の方から町の施設の利用についての区長さんのお願いをされると、まあそれぞれの事もあると思うんですけど、常時ではなくて、不定期ですね？

(事務局) はい。

(会長) いう事で、今後のスケジュールになります。そうしますと2番の「今後について」は、成果報告につきましても承認をいただいたという事でよろしかったですね。2番についての今後につきましては、先ほどの通りに処理をさせていきまして、住民のみなさまにご報告させていただくという事になります。お礼の言葉はどっかにあったですかね、でも最後の。よろしいでしょうか。今後についての、よろしいですか。では2番終わってもいいですね。では3番、その他ですけど、みなさんの方から。折角ですから何かありませんか。

(事務局) ゆるりん館の利用状況など一応調べてみたんで簡単なんですけど、令和2年度がちょうどコロナ禍それこそ3月くらいから感染拡大で、人の動きが止まったんですけど、それでもその前、平成31年度でだいたいゆるりん館の来館者数が45,000人程度だったんですけど、コロナで落ちるかなあと思ったら、それよりも多い利用者数で頑張っておられる。指定管理でまちづくり会社に頑張っ

ていただいているんですけど、それよりも上回る利用人員、45,100弱の来館者数がありました。特にスーパー部門が頑張っているって、全国の店舗でネットワークの組織があって、そこに加わっておられて、購買の傾向なんかをしっかりと管理されてて、例えば今日こんな天気だったらこんな物が売れるとか、そういうものを上手く使いながら、あと利用者の数も増えてるみたいなんですけど、一人当たりの購買単価も上がって、というような事も聞いております。いろいろ工夫されて。あと、ここの食堂も、直営で以前まちづくり会社がやっておられたんですけど、委託方式にされて、頑張っておられる。引き続き松崎地区立地的に考えても、松崎地区の利用が中心となりますので、ご協力いただきたいと、またお気づきの事があつたら、この組織はなくなっちゃうんですけど、みらい創造室の方にお聞かせいただければという風に思いますので、よろしくお願ひします。

(会長) コロナの関係で割と近場っていうのもあるんでしょうね。コロナの関係があつて。街に出ずに近場で。ありがとうございます。みなさんの方からもあと議事録は最終ですから、今日の分は全員に配付という事で。

(事務局) 欠席の方にも。

(会長) そうですね。出欠席関係なく全員に。議事録とこの直した分と。みなさんの方からありませんでしょうか。よろしいでしょうか、何かありませんでしょうか。

(委員) よく行事をする時に、「何々を巻き込んで」という風に、表現ですけど。

(会長) 巻き込んでね。

(委員) 役場を巻き込んで、町長を巻き込んで、合銀を巻き込んで、そういう風になつたらいいな。

(会長) ああ、そうですね。区長会と一緒に、区長さんの負担もありますけど。協議会の発足と一緒に、区長さん方と一緒にいろいろ連携しながら、松崎の活性化に取り組んで来たというのは大きなひとつの成果かと、その代わり区長さん「忙しい」といいます。よその区長さん。松崎の区長手当上げてほしいと多分言われるかもしれませんが、逆に。それはよく聞きます。明日も会議がありますし、来週の金曜日にも会議、区長。これは多分よそより会の回数より多い。もちろん祭りの関係でも、準備の会に30何人集まりますから、そんなところでもやっぱり、副会長の経験と力がという事です。まあ、巻き込んで・・・。

(委員) 祭りなんかでも、例えば銀行の人にも神輿に出てもらって。

(会長) ただ日曜日でもねえ・・・。

(委員) 地域のそういったイベントとかは、できるだけ出たいなあと考えてます。土日でも。

(会長) じゃあ、またチャンスがありましたら、ぜひ。

(事務局) 一点念のために確認なんですけど、閉じるとして、閉じるんですけど。残余資産というか、ここで何か、特にそういうものはないという事でよろしいですよ。

(会長) 資産? 例えば?

(事務局) うちが会計もやってるんですけど、そういうようなとにかく残るようなお金とかはないという事です。

(会長) ないですね。

(事務局) あとなんか、その辺はちょっと確認しといた方がいいのかなと思って。特に引き継ぐようなものもない。

(会長) ないですね。ないようでしたら以上で終わりたいと思いますが、最後に閉めのあいさつは副会長の方にお願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

#### 4. 閉会

(副会長) 本当に先ほども言いましたけど、5年というのは長いようで短かったという事が一番胸に思うところでございます。またこの協議会もですね、第2弾という事で発足される予定ではないかとい

う風に思っております。我々は地域を、さっきの言葉じゃないですけど、地域を巻き込んで地域の活性化に尽力したいという風に思っておりますので、どうかまた第2弾で、みなさんのお力を拝借してですね、松崎のまちが活気あるまちになるように頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(会長) ありがとうございます。おつかれさまでした。これで終わります。